

平成23年(2011年)12月4日(日曜日)

沼 地域 東 (26)

被災地小中生とバスケット交流

伊豆三島のNPO招待

伊豆・東部

本県勢と白熱試合展開

福島県いわき市の小中学生約40人と、伊豆・伊豆の国・三島の各市内の児童生徒が3日、伊豆市内でバスケットボールの交流試合を行った。東日本大震災や原発事故の影響で、いわき子どもたちは日ごろの部活動も制限を受けざるを得ない状況の中、地元をしばし離れてプレーに集中した。

今回訪れたのは、いわき市と同市立植田小ミニバスケットボール部の児童、家族ら。一行はNPO法人グラウンドワーク三島(三島市)が被災児童・家族を無償招待する「第9回心を元気にするショートツアー」に参加し、2泊3日の日程で伊豆入りした。

交流試合は伊豆市バスケットボール連盟の遠上丈夫会長らが調整し、修善寺中、長岡中、三島北中の各バスケット部と修善寺小、韮山小のミニバスチームが対戦した。いわき、本県勢とも伸び伸びとプレーし、白熱した試合展開

対戦する植田東中と長岡中
中川伊豆市の修善寺体育館



開にギャラリから声援が沸いた。

植田東中バスケット部の丹野秀一郎顧問(41)は「子どもたちはとにかく体を動かしたくて仕方がない。思い切りプレーする機会をつくってもらい、ありがたい」と話した。一行は滞在中、伊豆市の日本競輪学校の見学や温泉体験なども楽しんだ。